

## 平成 28 年度 ASEAN 向け省エネ支援事業の最終会合を実施しました

### 【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、経済産業省の委託（国際エネルギー使用合理化等対策事業・省エネルギー人材育成事業）を受けて、2017年3月7日・8日の2日間、タイ・バンコクの最終会合で本年度のAJEEP(ASEAN-JAPAN Energy Efficiency Partnership) 事業内容・取組み結果等を説明し、ASEAN各国と今年度事業実施内容結果の討議を行ないました。

- (1) 新スキーム2はエネルギー管理士指導職育成事業の初年度を実施、4カ国（インドネシア、マレーシア、タイ、ベトナム）・8名にトレーナー資格を付与
- (2) スキーム3は、カンボジア・ラオスを対象にS&Lを含めて継続支援



オープニングスピーチ（タイ）



オープニングスピーチ（ECCJ）



オープニングスピーチ（ACE）



討議風景



集合写真

「平成28年度のASEANに対する省エネ人材育成事業」の具体的な活動実施計画作成のための会議（タイ・バンコク）に参加した。会議にはASEAN各国（4カ国代表は不参加）からASEAN省エネルギー部会（EE&C-SSN）の代表（Focal Point 又はその代理）及びACEが参加し、本年度の実施結果を総括した。

- (1) スキーム2のエネルギー管理士トレーナー育成事業の初年度を実施し、4カ国（インドネシア、マレーシア、タイ、ベトナム）・8名にトレーナー資格を付与した。実践訓練として活用したタイのトレーニングセンターは次年度の使用を歓迎されると共に、テキストには最新のトピックスを盛り込むように要望があった。
- (2) スキーム3については、カンボジアとラオスを対象に、進捗と成果を出すために、2回に分けて専門家派遣を実施し、カンボジアにおいては、管理士制度・ビルの省エネガイドライン整備着手に向けて検討を進めるテクニカルワーキンググループが立ち上がった。ラオスについては具体的なアクションプランが策定され、次年度のセミナー・ワークショップ開催を継続支援する。